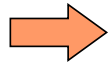


[主要指標の動き]

【3月の概況】

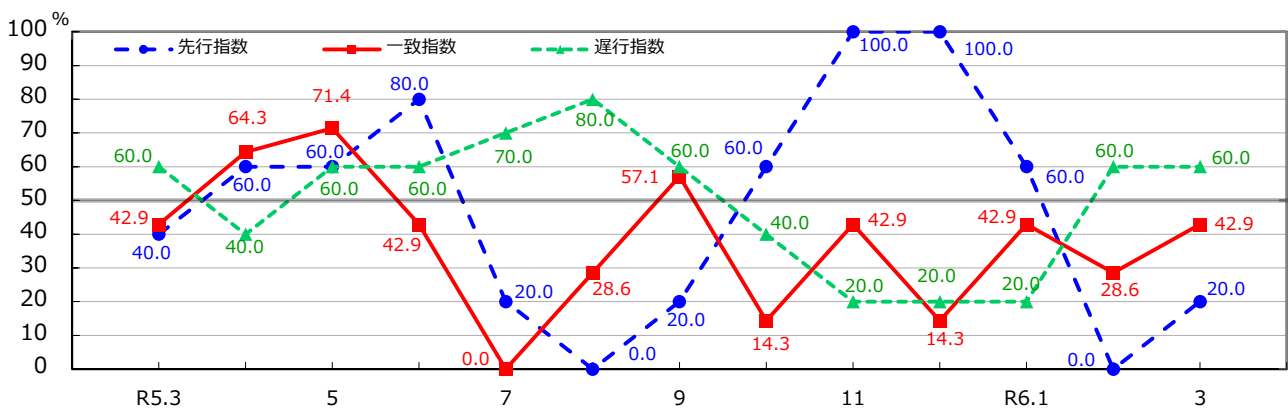


県内経済は、持ち直しの動きに足踏みがみられます。

※矢印は、前月または前年同月と比較してどのように変化したかを表しています。

1. 生産・貿易	3月の鉱工業生産指数は、2か月ぶりに前月を下回りました。
2. 消費	個人消費は、3月の百貨店・スーパー販売額が2か月連続で前年を下回るなど、持ち直しの動きに足踏みがみられました。
3. 雇用・労働	雇用は、3月の有効求人数がやや減少しましたが、有効求人倍率は高い水準を保ちました。賃金は、3月は名目、実質ともに前年同期を上回りましたが、賃金の上昇が物価の上昇に追いついていない状況が約2年に及んでいます。
4. 投資	3月は、前年と比較して住宅投資は減少しましたが、公共工事の請負金額は増加しました。
5. 企業景況	令和6年1～3月期の全般的業況DIは前期比20ポイント悪化しました。
6. 人口	令和6年5月1日現在の本県の推計人口は1,034,090人で、前月より140人減少しました。世帯数は前月より2,235世帯増加し、474,870世帯でした。

【景気動向指数(DI)】



令和6年3月の本県の景気動向指数(DI)は、先行指数が20.0%、一致指数が42.9%、遅行指数が60.0%となりました。

※景気動向指数：景気に敏感な経済指標を用いて、景気が上向きか下向きかを総合的に示す指数

●全国・九州各県(3月)

(単位: %)

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
先行指数	20.0	60.0	28.6	12.5	-	-	40.0	66.7
一致指数	42.9	11.1	14.3	42.9	-	-	42.9	71.4
遅行指数	60.0	62.5	57.1	25.0	-	-	42.9	50.0

※長崎県は令和2年2月分から指数の算出を廃止、熊本県は令和6年1月分から算出を休止している。

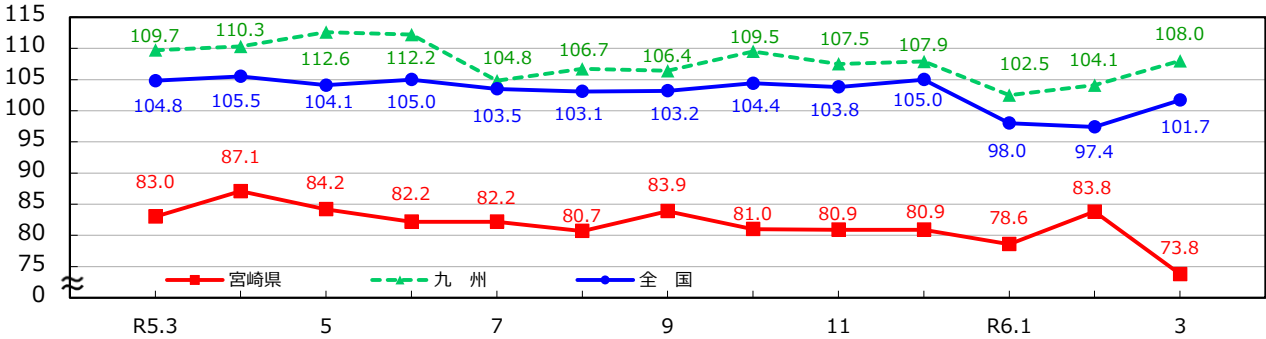
(1-1表 資料：県統計調査課)

1. 生産・貿易



3月の鉱工業生産指数は、2か月ぶりに前月を下回りました。

1-1 【鉱工業生産指数（季節調整済指数）】



令和6年3月の本県の生産指数は73.8で、前月を11.9%下回りました。
 全国の前月を4.4%上回りました。
 九州の前月を3.7%上回りました。

※本県は速報値[平成27年(2015年)=100]、全国は確報値[令和2年(2020年)=100]、九州は速報値[令和2年(2020年)=100]

●全国・九州各県（3月）

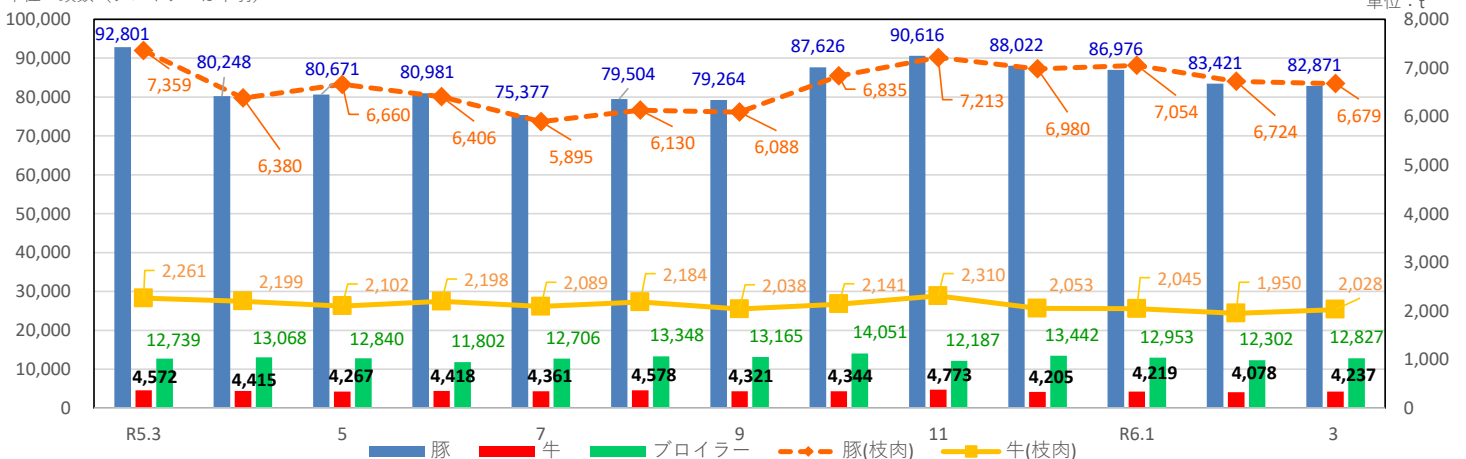
	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
生産	73.8	101.7	99.7	94.6	131.0	118.3	105.8	93.1

※鹿児島、本県は[平成27年(2015年)=100]、全国、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分は[令和2年(2020年)=100]

(4-3表 資料：県統計調査課)

1-2 【牛・豚のと畜頭数、枝肉生産量及びブロイラーひな餌付羽数】

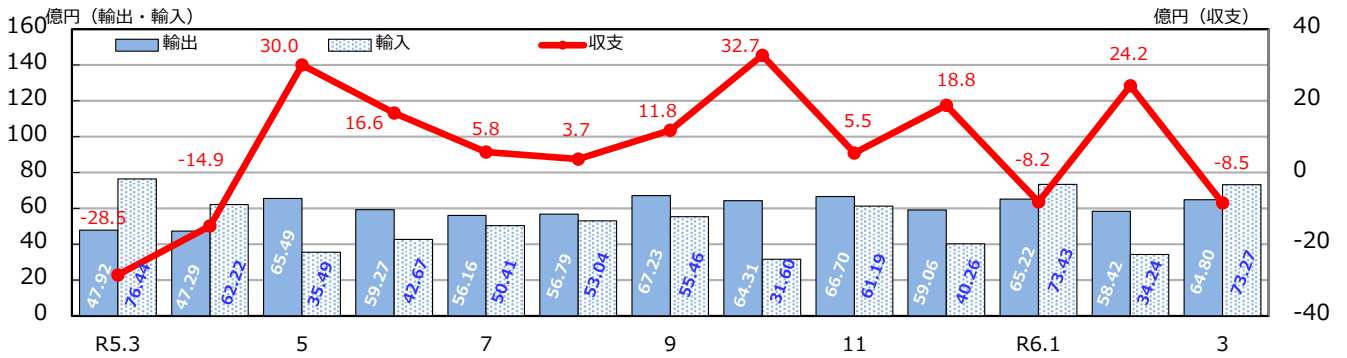
単位：頭数（ブロイラーは千羽）



令和6年3月の本県のブロイラーひな餌付羽数は12,827千羽で、前年同月を0.7%上回りました。
 と畜頭数は、豚が82,871頭で前年同月を10.7%下回り、牛が4,237頭で前年同月を7.3%下回りました。
 枝肉生産量は、豚が6,679 tで前年同月を9.2%下回り、牛が2,028 tで前年同月を10.3%下回りました。

(3-2表 資料：農林水産省（般）日本種鶏卵協会)

1-3 【通関実績】



令和6年3月の本県の輸出額は64億80百万円となり、前月から10.9%増加しました。

また、輸入額は73億27百万円となり、前月から114.0%増加しました。

この結果、収支額(輸出額-輸入額)は8億5百万円のマイナス(赤字)となりました。

主な品目では、輸出は二酸化マンガ、ポリ塩化ビニリデン(食品包装フィルム、自動車シートに使用)、アセテート(ブラウスやシャツ、ジャケットに使用)などが増加し、輸入は歴青炭(石炭)、糖類、チップ状の木片などが増加しました。

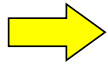
●全国・九州各県(3月)

(単位: 億円)

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
輸出(A)	64.8	94,693.2	6,947.1	200.2	202.6	52.9	944.7	47.4
輸入(B)	73.3	90,823.1	3,748.1	83.1	193.4	131.3	1,894.5	2,192.7
収支(A)-(B)	▲ 8.5	3,870.1	3,199.0	117.1	9.2	▲ 78.4	▲ 949.8	▲ 2,145.3

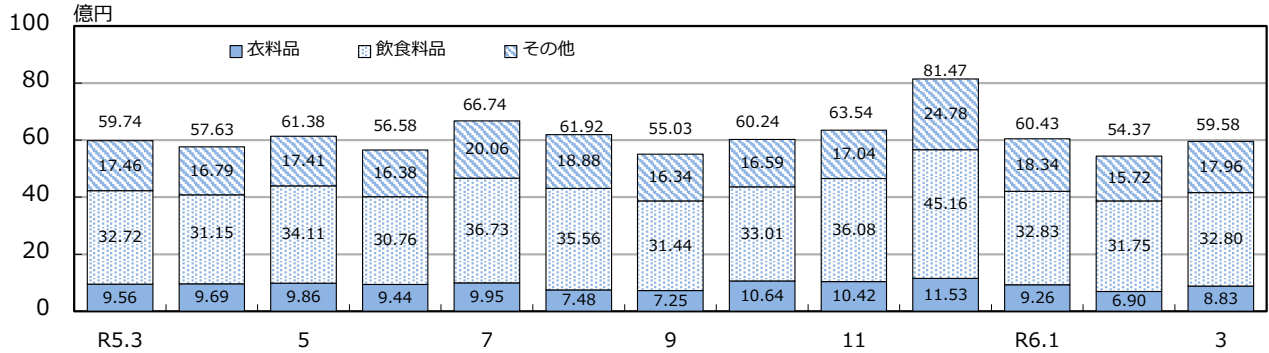
(9-1表 資料: 財務省)

2. 消費



個人消費は、3月の百貨店・スーパー販売額が2か月連続で前年を下回るなど、持ち直しの動きに足踏みがみられました。

2-1 【百貨店・スーパー商品別販売額】



令和6年3月の県内百貨店及びスーパー（計35店舗）の販売額は59億58百万円で、前年同月を0.3%下回りました。商品別販売額では、衣料品が8億83百万円で前年同月を7.6%下回り、飲食品が32億80百万円で前年同月を0.2%上回り、その他が17億96百万円で前年同月を2.9%上回りました。

※各月における商品別販売額の合計と総販売額は、端数処理の関係で一致しないことがあります。

●全国・九州各県（3月）

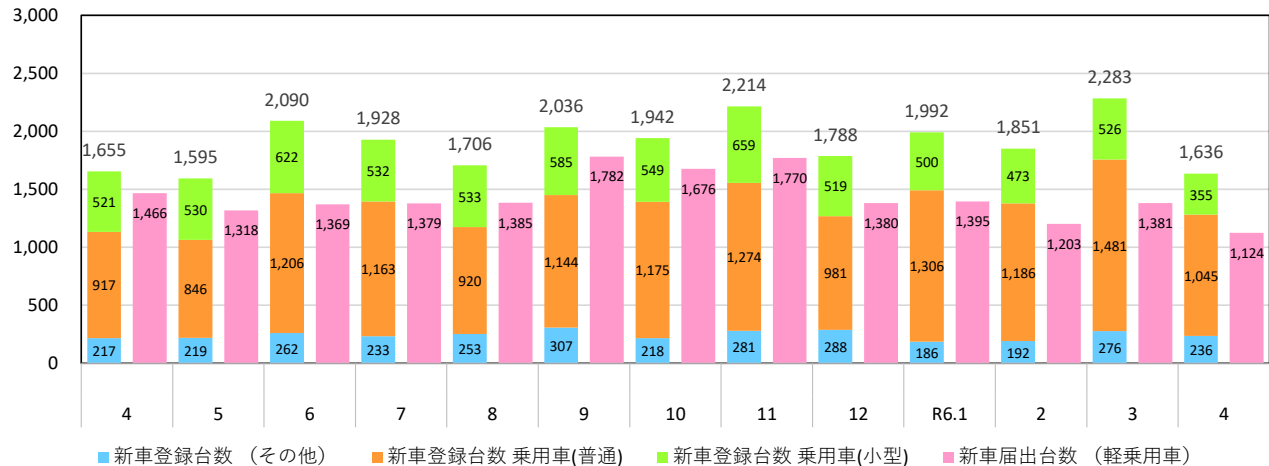
（単位：億円）

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
販売額計	59.58	18,886.18	657.74	53.68	84.18	153.96	92.71	178.14

（9-2表 資料：経済産業省）

2-2 【新車登録・届出台数】

単位：台



※新車登録台数（その他）：普通貨物、小型貨物、バス、特種車、特殊車

令和6年4月の本県の新車登録台数は1,636台で、前年同月を1.1%下回りました。

このうち、普通乗用車の登録台数は1,045台で前年同月を14.0%上回り、小型乗用車の登録台数は355台で前年同月を31.9%下回りました。

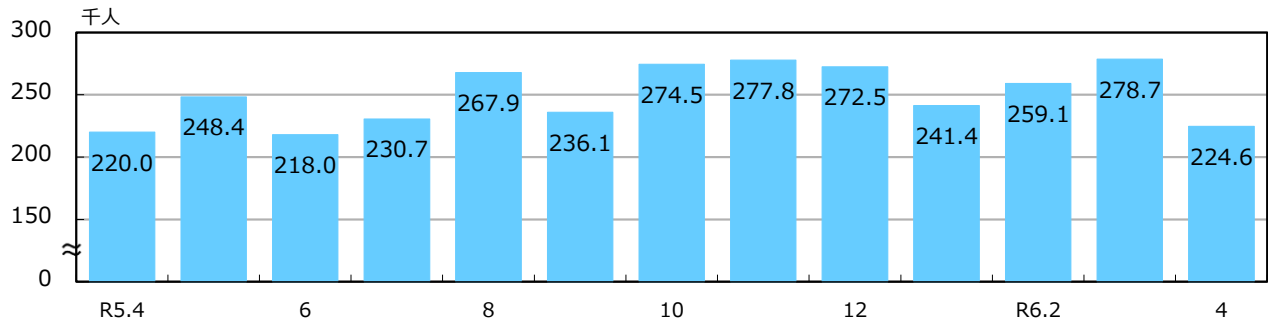
●全国・九州各県（4月）

（単位：台）

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
新車登録台数	1,636	209,085	8,885	1,168	1,499	2,674	1,826	2,236

（7-2表 資料：日本自動車販売協会連合会 宮崎県支部）

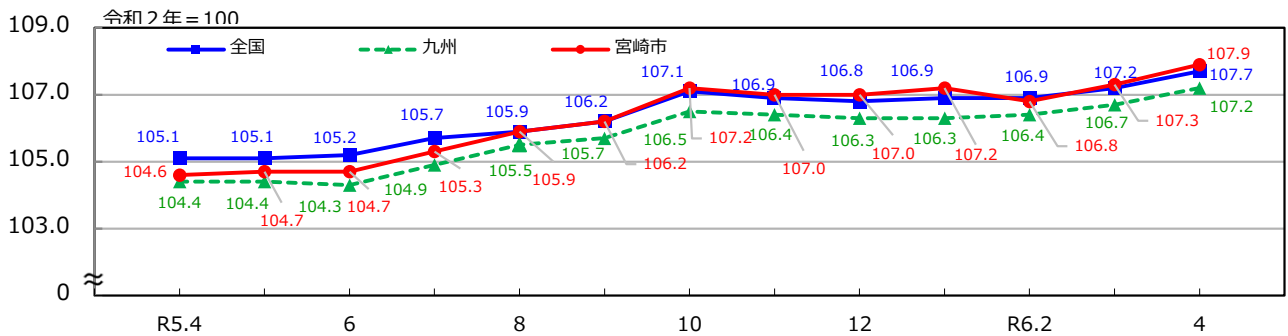
2-3 【宮崎空港乗降客数】



令和6年4月の宮崎空港の乗降客数は224,598人で、前年同月から2.1%増加しました。
 このうち国内線の前年同月比は、東京便（羽田＋成田）が2.3%、大阪便（伊丹＋関西）が1.9%、名古屋便が7.3%、福岡便が-3.4%、沖縄便が-0.7%となりました。
 国際線は、ソウル便で3,622人が利用しました。

(7-3表 資料提供：宮崎交通(株)、県総合交通課)

2-4 【消費者物価指数】



令和6年4月の宮崎市の消費者物価指数（令和2年＝100）は総合指数で107.9となり、前年同月を3.1%上回りました。

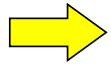
食料、住居等の10大費目別では、光熱・水道（前年同月比▲0.6%）を除く全ての費目で上昇しました。

●全国・九州各県（4月）

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
総合	107.9	107.7	107.5	107.6	107.5	107.3	105.7	105.9

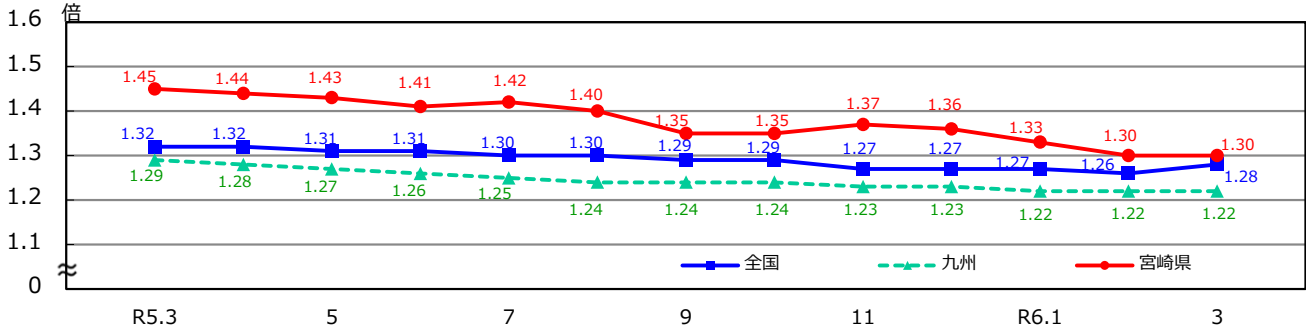
(10-3表 資料：総務省)

3. 雇用・労働



雇用は、3月の有効求人数がやや減少しましたが、有効求人倍率は高い水準を保ちました。賃金は、3月は名目、実質ともに前年同期を上回りましたが、賃金の上昇が物価の上昇に追いついていない状況が約2年に及んでいます。

3-1 【有効求人倍率】



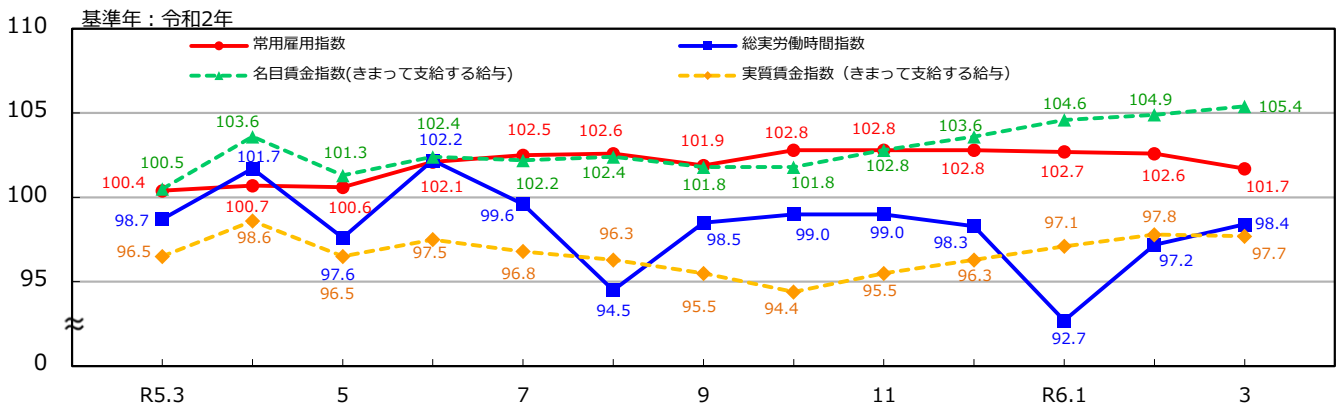
令和6年3月の本県の有効求人倍率(季節調整値)は1.30倍で、前月と同倍率となり、前年同月比では0.15ポイント低下しました。

●全国・九州各県 (3月)

有効求人倍率 (季節調整値)	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
	1.30	1.28	1.21	1.31	1.19	1.25	1.36	1.20

(11-1表 資料：宮崎労働局職業安定部)

3-2 【労働関係指数 (事業所規模5人以上)】



令和6年3月の本県の常用雇用指数(※)は101.7で、前年同月を1.3%上回りました。

総実労働時間指数は98.4で、前年同月を0.3%下回りました。

名目賃金指数(きまって支給する給与)は105.4で、前年同月を4.9%上回りました。

実質賃金指数(きまって支給する給与)は97.7で、前年同月を1.2%上回りましたが、物価の上昇に賃金が追いついていない状況が約2年に及んでいます。

※令和6年1月調査において実施したベンチマーク更新に伴い、常用雇用指数は過去に遡って改訂が行われることから、基準年(令和2年)の常用雇用指数は100とならない場合があります。(他の指数については令和2年=100)

●全国・九州各県 (3月)

(単位：円、時間)

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
常用雇用指数	101.7	102.7	108.2	102.3	98.7	103.9	100.0	104.8
きまって支給する給与額	231,206	279,231	277,501	235,629	233,897	243,276	238,646	240,417
総実労働時間	140.6	136.3	141.5	141.6	139.6	141.9	138.5	142.2

※福岡県のみ事業所規模30人以上

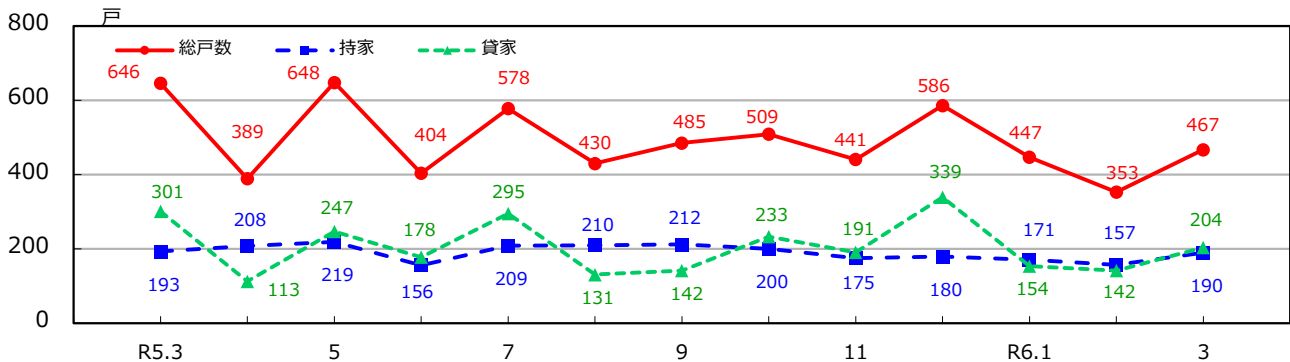
(11-2表 資料：県統計調査課)

4. 投資



3月は、前年と比較して住宅投資は減少しましたが、公共工事の請負金額は増加しました。

4-1 【新設住宅着工戸数】



令和6年3月の県内の新設住宅着工総戸数は467戸で、前年同月比27.7%減と、2ヶ月連続で前年同月を下回りました。

利用関係別では、持家が190戸で前年同月から1.6%減少し、貸家が204戸で同32.2%減少となりました。

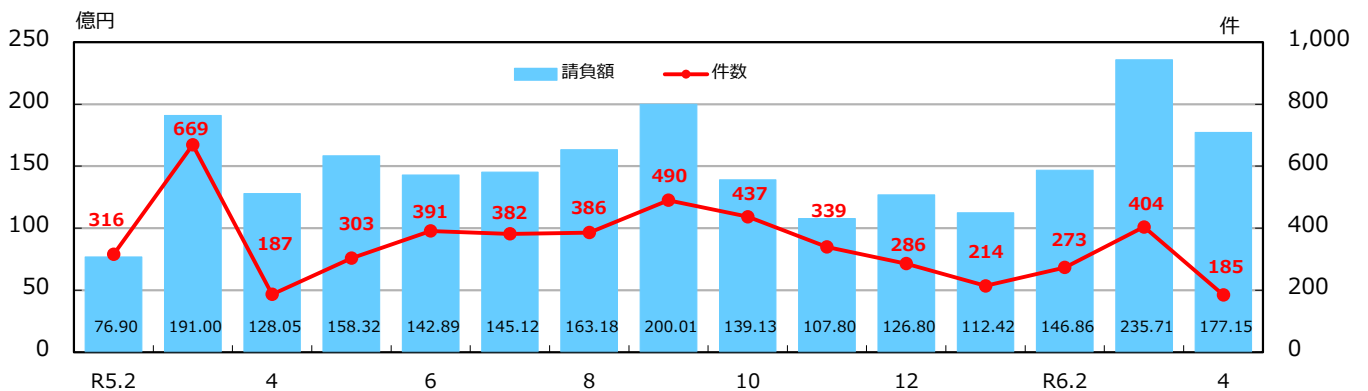
●全国・九州各県 (3月)

(単位: 戸)

新設住宅	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
着工総戸数	467	64,265	2,621	367	499	738	546	601

(5-1表 資料: 国土交通省)

4-2 【公共工事請負状況】



前払保証からみた令和6年4月の県内の公共工事請負状況は、件数が185件で前年同月から1.1%減少し、請負金額は177億15百万円で、前年同月から38.3%増加しました。

発注者別の件数は、国が10件で請負金額が12億45百万円、県が85件で請負金額が76億77百万円、市町村が80件で請負金額が56億46百万円となりました。

●全国・九州各県 (4月)

(単位: 件、億円)

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
総件数	185	18,782	559	245	294	361	272	343
請負額計	177.15	24,324.16	670.24	185.97	228.32	244.95	261.99	306.79

(5-2表 資料: 西日本建設業保証(株)宮崎支店)

5. 企業景況



令和6年1～3月期の全般的業況DIは前期比20ポイント悪化しました。

5-1 【令和6年1～3月期企業動向アンケート調査】

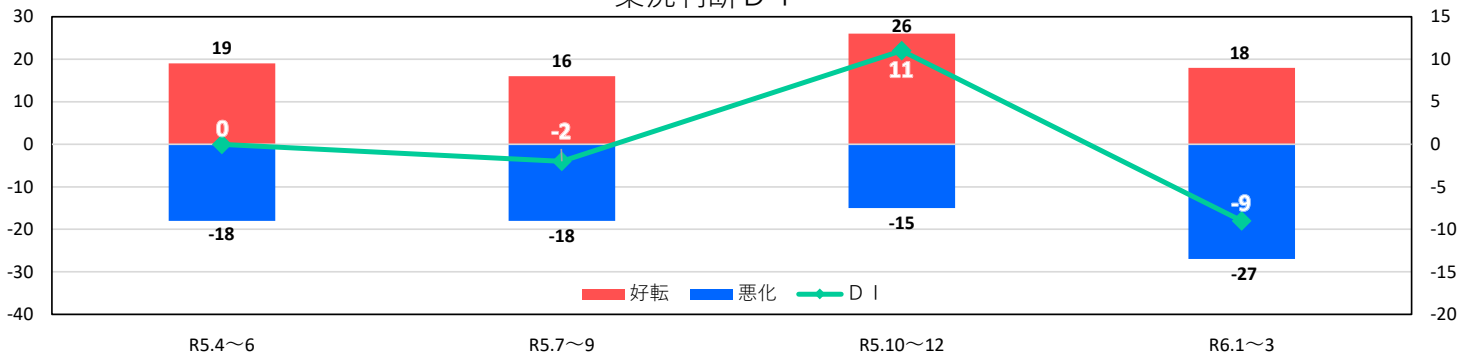
・業況判断DI (単位：%、ポイント)

業種	R6年1～3月期		
	好転 (A)	悪化 (B)	DI (A)-(B)
全体	18	27	▲9
製造業	22	38	▲16
建設業	9	13	▲4
卸小売業	18	31	▲13
サービス業	23	18	5

・来期見通し (単位：%、ポイント)

業種	R6年4～6月期		
	好転 (A)	悪化 (B)	DI (A)-(B)
全体	17	23	▲6
製造業	20	30	▲10
建設業	20	20	0
卸小売業	12	19	▲7
サービス業	16	20	▲4

業況判断DI

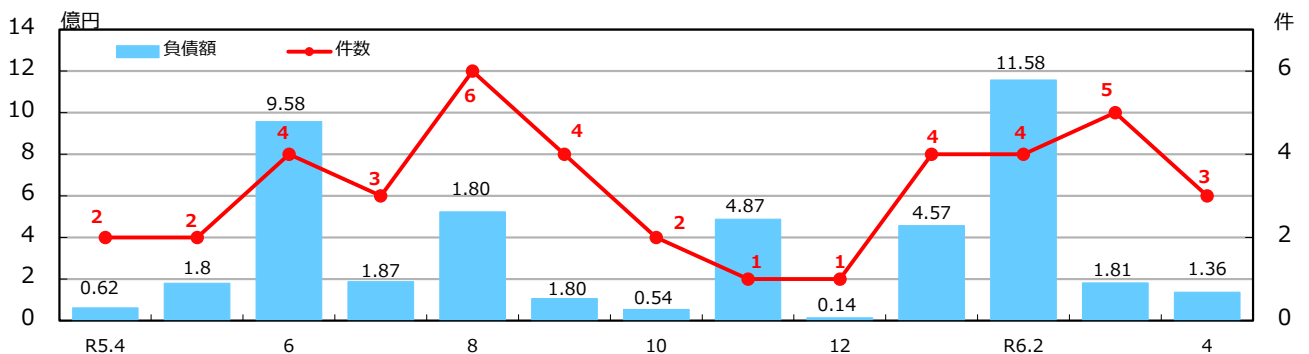


令和6年1～3月期の本県の企業動向アンケート結果は「好転」が18%、「悪化」が27%で、全般的業況DIは-9ポイントとなり、前期比20ポイント悪化しました。

※全般的業況DI：「好転」から「悪化」を差し引いた値

(資料：一般財団法人 みやぎん経済研究所)

5-2 【企業倒産状況】



令和6年4月の本県の企業倒産（負債総額1千万円以上の法人及び個人企業）は3件で、負債総額は1億36百万円となりました。

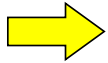
●全国・九州各県（4月）

(単位：件、億円)

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
総件数	3	783	51	1	7	6	6	2
負債総額	1.36	11.34	38.42	1.85	10.07	4.40	8.77	1.72

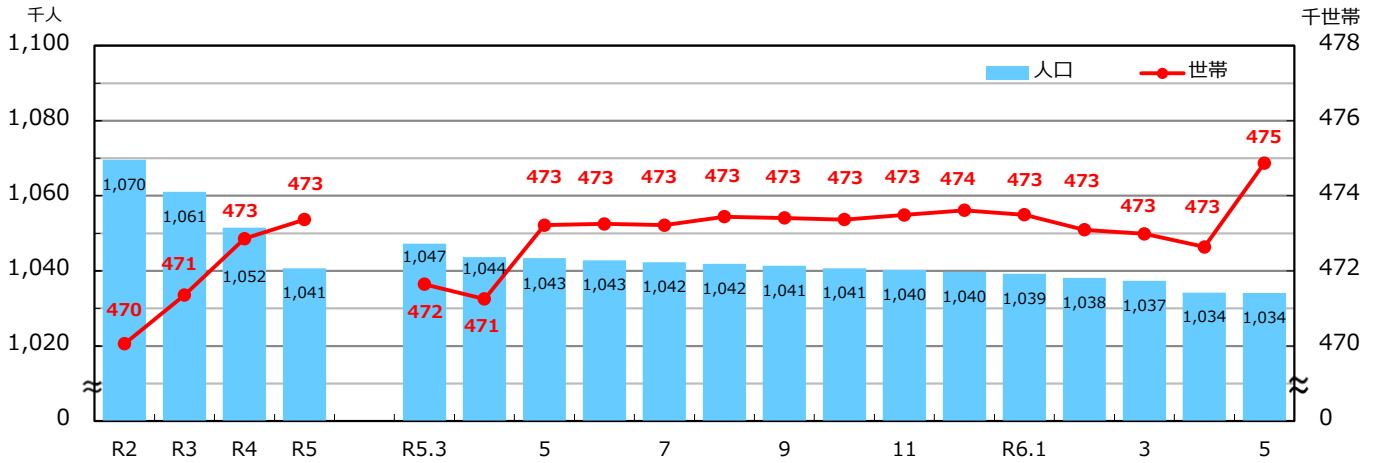
(8-6表 資料：(株)東京商工リサーチ宮崎支店)

6. 人口



令和6年5月1日現在の本県の推計人口は1,034,090人で、前月より140人減少しました。世帯数は前月より2,235世帯増加し、474,870世帯でした。

【人口】



令和6年5月1日現在の本県の推計人口は1,034,090人で、前月より140人減少となりました。また、世帯数は474,870世帯で、前月より2,235世帯増加となりました。

※月別の数値は各月1日現在、年別は各年10月1日現在

●全国・九州各県（4月）

(単位:千人、%)

	本県	全国	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	鹿児島
人口	1,034	13,954	5,091	789	1,254	1,698	1,087	1,537
前月増加率	▲ 0.30	▲ 0.30	▲ 0.16	▲ 0.35	▲ 0.50	▲ 0.28	▲ 0.32	▲ 0.40

(2-1表 資料: 県統計調査課)

[参考]

「月例経済報告」抜粋（令和6年5月27日：内閣府） ※全国

【基調判断】

4月月例	5月月例
<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。</p>	<p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <p>先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。</p>

※ 前回（2024年4月）から変更なし

【各 論】

	4月月例	5月月例
個人消費	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる
設備投資	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる
公共投資	<u>底堅く</u> 推移している	<u>堅調に</u> 推移している
輸 出	持ち直しの動きに足踏みがみられる	持ち直しの動きに足踏みがみられる
輸 入	<u>このところ弱含んでいる</u>	<u>おおむね横ばい</u> となっている
貿易・サービス収支	赤字となっている	赤字となっている
生 産	<u>持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している</u>	<u>一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、生産活動が低下していたが、このところ持ち直しの動きがみられる</u>
企業収益	総じてみれば改善している	総じてみれば改善している
業況判断	改善している。ただし、製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる	改善している。ただし、製造業の一部では、一部自動車メーカーの生産・出荷停止による影響がみられる
倒産件数	増加がみられる	増加がみられる
雇用情勢	改善の動きがみられる	改善の動きがみられる
国内企業物価	<u>横ばい</u> となっている	<u>このところ緩やかに上昇</u> している
消費者物価	緩やかに上昇している	緩やかに上昇している
海外経済	世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響による下振れリスクに留意する必要がある。また、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。	世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響による下振れリスクに留意する必要がある。また、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から変更した部分

[参考]

「宮崎県金融経済概況」抜粋（2024年5月9日：日本銀行宮崎事務所）

【概要】

4月	5月
<p>宮崎県の景気は、緩やかに回復している。</p> <p>すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、緩やかに回復している。観光は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。</p> <p>生産は、弱めの動きとなっている。企業部門の動向を短観（3月<鹿児島・宮崎両県集計分>）でみると、設備投資は、増加している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。</p>	<p>宮崎県の景気は、緩やかに回復している。</p> <p>すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、緩やかに回復している。観光は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。</p> <p>生産は、弱めの動きとなっている。企業部門の動向を短観（3月<鹿児島・宮崎両県集計分>）でみると、設備投資は、増加している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。</p>

※ 前回（2024年4月）から変更なし

[参考]

「宮崎県内経済情勢報告」抜粋

（令和6年4月22日：九州財務局宮崎財務事務所）

【総括判断】

前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）
緩やかに回復しつつある。	緩やかに回復しつつある。

※ 前回から変更なし

【各項目の判断】

	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）
個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある
生産活動	弱含んでいる	弱含んでいる
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある
設備投資	5年度は減少見込み	5年度は減少見込み
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は増益見込み
企業の景況感	「上昇」超となっている	「上昇」超となっている
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている
倒産	件数、負債総額ともに前年を下回っている	件数、負債総額ともに前年を上回っている

※ 下線部は、前回から変更した部分

	8 =												
						F &	%	F &	%	F &	%	F &	%
H & -	-	-	-	12,692	57,477	-	114.0	-	114.9	-	-	-	99.2
H * \$	-	-	-	12,675	58,008	-	114.6	-	114.9	-	-	-	100.5
R %	-	-	-	12,656	58,527	-	111.6	-	112.0	-	-	-	101.0
R &	-	-	-	12,615	59,072	-	100.0	-	100.0	-	-	-	92.6
R *	-	-	-	12,550	59,497	-	105.4	-	104.4	-	-	-	98.5
R (-	-	-	12,495	59,761	-	105.3	-	103.9	-	-	-	101.2
R)	-	-	-	12,397	60,266	-	103.9	-	103.2	-	-	-	100.7
R (63.6	70.0	77.8	12,508	-	107.8	100.8	105.7	99.6	101.7	-	-	102.2
R (40.9	50.0	55.6	12,497	-	107.3	112.1	105.0	110.5	103.4	-	-	102.7
R (% \$	36.4	40.0	66.7	12,495	-	105.5	105.4	104.4	104.5	103.2	-	-	102.9
R (% %	36.4	30.0	72.2	12,491	-	105.5	108.6	104.0	107.4	103.2	-	-	104.4
R (% &	45.5	30.0	55.6	12,486	-	104.9	107.6	102.8	107.3	103.1	-	-	101.2
R (% *	45.5	40.0	66.7	12,475	-	101.1	93.8	99.9	92.1	102.8	-	-	104.0
R () &	54.5	40.0	66.7	12,463	-	104.5	100.9	103.8	100.3	103.4	-	-	104.5
R () *	54.5	55.0	66.7	12,457	-	104.9	117.3	104.3	118.1	103.6	-	-	100.6
R ((45.5	80.0	44.4	12,455	-	105.2	102.5	103.8	100.0	104.9	-	-	103.2
R ()	36.4	40.0	66.7	12,448	-	104.1	96.6	103.5	93.9	105.5	-	-	106.3
R (*	54.5	50.0	61.1	12,451	-	105.0	108.2	104.3	107.3	105.5	-	-	106.3
R (+	54.5	35.0	61.1	12,452	-	103.5	105.1	102.9	104.4	105.7	-	-	107.0
R ()	54.5	30.0	22.2	12,444	-	103.1	96.1	102.7	96.5	104.5	-	-	105.3
R (-	45.5	50.0	72.2	12,435	-	103.2	107.0	103.3	107.8	103.6	-	-	102.7
R (% \$	54.5	70.0	77.8	12,435	-	104.4	106.3	103.6	105.3	103.6	-	-	103.7
R (% %	45.5	35.0	77.8	12,434	-	103.8	106.9	102.8	105.6	103.6	-	-	105.3
R (% &	45.5	65.0	44.4	12,430	-	105.0	106.4	104.4	107.5	102.7	-	-	100.7
R * %	50.0	11.1	25.0	12,409	-	98.0	92.4	96.6	90.5	101.0	-	-	102.1
R * &	80.0	22.2	56.3	12,399	-	97.4	97.0	95.9	95.6	101.6	-	-	102.7
R * *	60.0	11.1	62.5	12,397	-	101.7	110.0	100.4	110.1	102.6	-	-	99.6
R * (12,400	-						-	-	
R *)				12,393	-						-	-	

	8 =												
						& +	% \$	% \$	% \$	% \$	% \$	% \$	% \$
H & +	-	-	-	1,104,069	462,858	-	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0
H &	-	-	-	1,095,863	465,186	-	98.6	-	99.9	-	-	-	88.6
H & -	-	-	-	1,088,044	467,011	-	96.2	-	97.7	-	-	-	95.4
H * \$	-	-	-	1,079,727	468,593	-	96.7	-	97.3	-	-	-	102.4
R %	-	-	-	1,071,723	470,687	-	96.6	-	94.4	-	-	-	116.8
R &	-	-	-	1,069,576	470,055	-	87.7	-	88.1	-	-	-	108.8
R *	-	-	-	1,061,016	471,351	-	91.7	-	90.7	-	-	-	111.0
R (-	-	-	1,051,518	473,153	-	87.7	-	87.3	-	-	-	111.4
R)	-	-	-	1,040,711	473,366	-	82.4	-	81.5	-	-	-	117.2
R (60.0	57.1	60.0	1,053,071	473,443	90.5	85.3	88.1	84.3	111.7	-	-	110.4
R (20.0	21.4	60.0	1,052,337	473,328	84.5	86.2	84.8	85.3	110.7	-	-	109.1
R (% \$	60.0	71.4	60.0	1,051,518	473,153	86.4	92.6	84.5	85.8	110.6	-	-	111.4
R (% %	20.0	21.4	80.0	1,050,838	473,064	85.9	91.0	83.8	89.7	112.1	-	-	113.2
R (% &	40.0	42.9	60.0	1,050,208	472,857	83.2	87.0	82.3	89.5	111.7	-	-	111.4
R (% *	20.0	42.9	80.0	1,049,604	472,616	81.2	76.1	80.1	74.1	114.4	-	-	114.4
R () &	80.0	35.7	40.0	1,048,272	472,136	81.6	78.2	81.9	78.9	113.8	-	-	114.2
R () *	40.0	42.9	60.0	1,047,223	471,644	83.0	90.4	81.4	88.1	117.3	-	-	117.2
R ((60.0	64.3	40.0	1,043,672	471,250	87.1	86.9	82.6	81.4	121.1	-	-	122.1
R ()	60.0	71.4	60.0	1,043,427	473,215	84.2	78.8	84.5	77.3	119.9	-	-	121.9
R (*	80.0	42.9	60.0	1,042,799	473,252	82.2	79.3	84.1	82.5	119.0	-	-	119.1
R (+	20.0	0.0	70.0	1,042,265	473,215	82.2	80.5	79.1	80.0	121.5	-	-	119.6
R ()	0.0	28.6	80.0	1,041,878	473,442	80.7	76.1	80.5	77.1	120.8	-	-	119.4
R (-	20.0	57.1	60.0	1,041,342	473,408	83.9	85.2	81.1	81.5	121.7	-	-	119.9
R (% \$	60.0	14.3	40.0	1,040,711	473,366	81.0	87.9	81.2	83.5	119.8	-	-	120.7
R (% %	100.0	42.9	20.0	1,040,218	473,489	80.9	85.7	81.3	87.0	117.8	-	-	119.0
R (% &	100.0	14.3	20.0	1,039,751	473,611	80.9	83.5	80.7	86.6	117.5	-	-	117.2
R * %	60.0	42.9	20.0	1,039,198	473,494	78.6	73.7	77.0	71.3	117.5	-	-	117.5
R * &	0.0	28.6	60.0	1,038,149	473,091	83.8	80.3	80.1	77.2	121.4	-	-	121.8
R * *	20.0	42.9	60.0	1,037,355	472,985	73.8	80.4	74.8	81.0	121.6	-	-	121.5
R * (1,034,230	472,635						-	-	
R *)				1,034,090	474,870						-	-	

()

%4)+0E1* 1"

% \$ % \$ % \$ % \$ % \$

% \$ % \$ % \$ % \$ % \$

